

漁海況情報訂正版 訂正箇所は赤字部分

沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話：098-852-4530・4531 F A X：098-852-4533

2022年(令和4年)2月 第591号

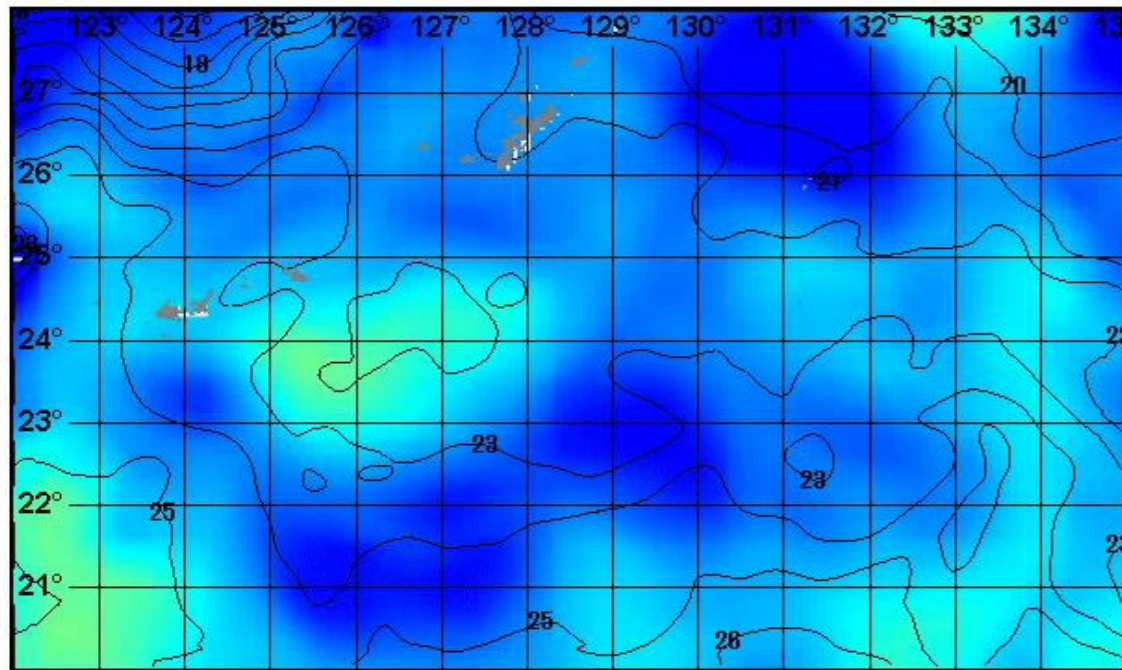
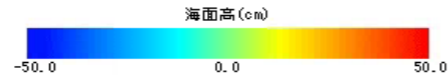


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2022年2月28日)

海況案内人の最新情報は下記URLでご覧いただけます。
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
スマホ等からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

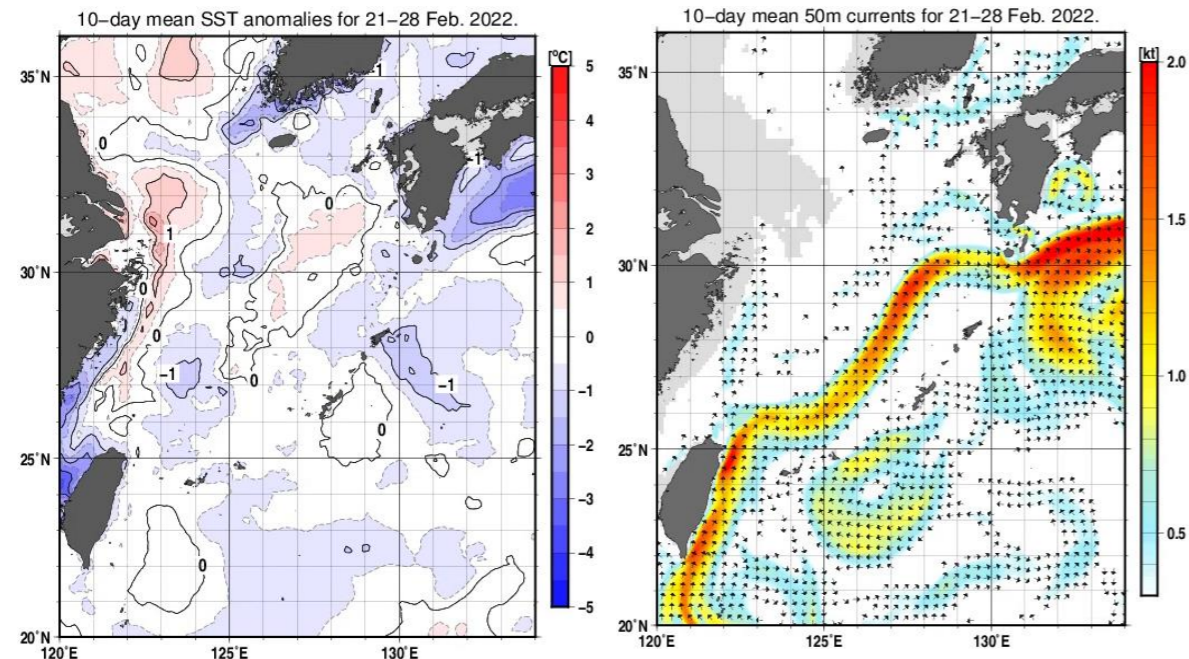


図2. 2022年2月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

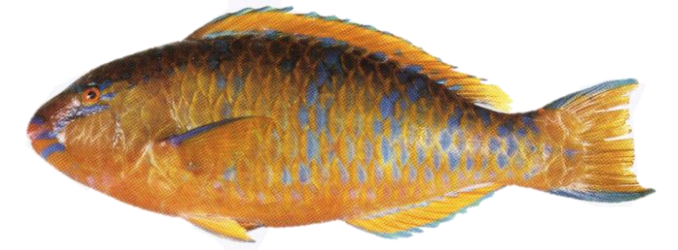
漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域はシビとキハダの水揚げが多かった。
伊良部ではカツオとシビの水揚げが多かった。

表1. 2月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.6	0.3	0.2	0.0	1.1	0.1	3.4
知ガキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サワラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5
カツオ	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	23.9	25.1
キハダ	11.0	1.8	0.8	0.5	14.1	2.8	85.0
シビ	13.7	2.5	0.9	1.3	18.4	7.0	45.0
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	25.4	4.6	1.9	2.0	33.9	33.7	159.1

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。



ヒブダイ(アーガイ)

糸満ではシビ13.7t、キハダが11.0t漁獲された。港川でもシビ2.5t、キハダ1.8tが漁獲された。知念でもシビが0.9t、キハダ0.8tが漁獲された。沖縄市でもシビが1.3t、キハダ0.5tが漁獲された。伊良部ではカツオが23.9t、シビ7.0tが漁獲された(表1)。

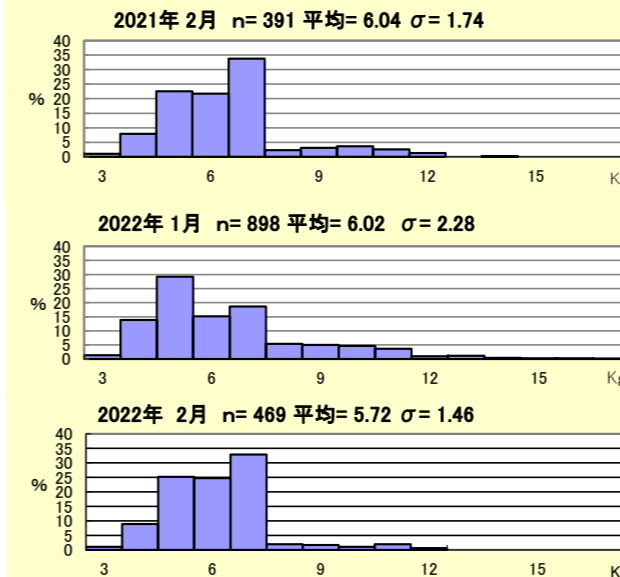


図3. 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布
nはデータ数：集計したソデイカの匹数
σは標準偏差：ソデイカの大きさにばらつきがあるほど数値が大きい

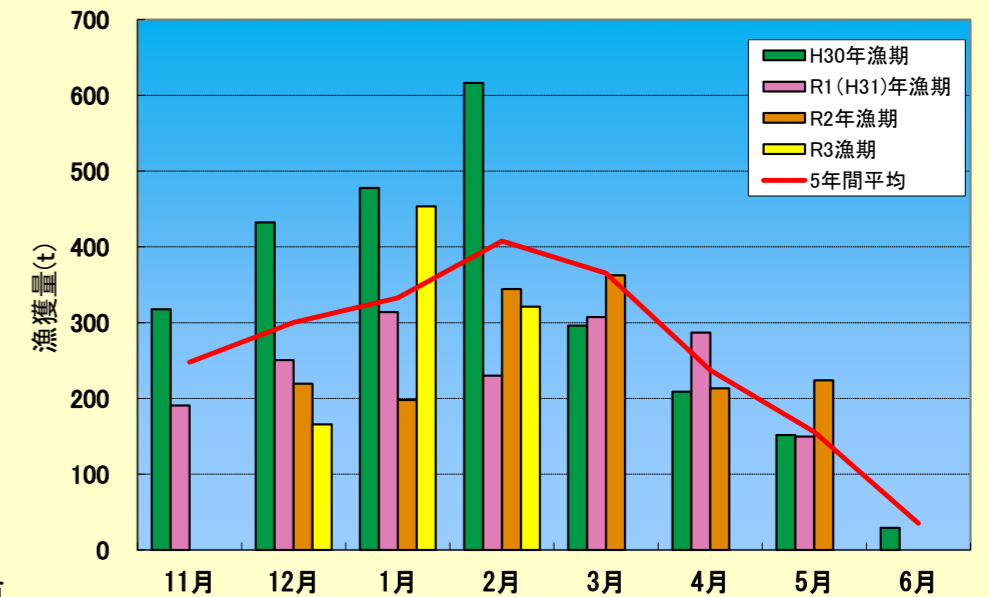


図4. ソデイカ月別漁獲量の推移

図3は重量から作成した頻度分布である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5か年の平均を示す。2月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は5.72kgで、昨年より0.32kg小さく、先月より0.30kg小さかった(図3)。一方2月のソデイカ漁獲量は321tで、昨年の2月(344t)よりも7%程度低く、過去5年間の平均漁獲量(408t)よりも21%程度低い水揚げとなった(図4)。

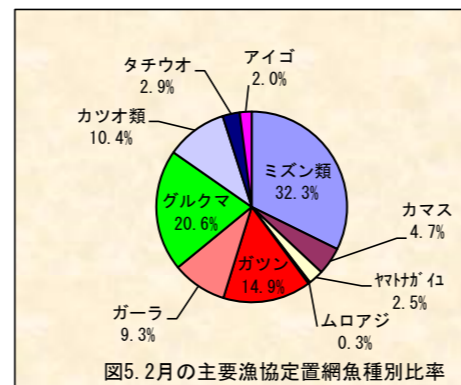


図5. 2月の主要漁協定置網魚種別比率
定置網：2月の県内の漁獲状況は2,307.5kgで先月(1,490.6kg)と比べ増加した。主要漁協の漁獲ではミズンとグルクマで約5割を占めた(表2、図5)。

表2. 2月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	264.9	10.3	0.0	452.1	0.0	5.0	732.3	732.3
カマス	22.2	46.7	31.6	6.0	0.0	0.0	106.5	108.0
ヤマトガイ	51.2	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0	57.6	57.6
ムロアジ	0.3	0.0	4.8	2.7	0.0	0.0	7.8	7.8
ガツン	210.2	125.5	2.2	0.8	0.0	0.0	338.7	338.7
ガーラ	89.4	98.1	15.4	7.3	0.0	0.0	210.2	226.9
グルクマ	0.0	49.4	418.4	0.0	0.0	0.0	467.8	467.8
カツオ類	65.9	121.6	4.9	43.1	0.0	0.0	235.5	235.5
タチウオ	0.6	65.5	0.0	0.0	0.0	0.0	66.1	66.5
アイゴ	44.4	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	66.4
合計	749.1	518.2	483.7	512.0	0.0	5.0	2,268.0	2,307.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。